

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-33



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者の要望で始めた「東京都にある大学の学食めぐり」です。最近是一般の人も食べられる学食が増えています。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。学食のメニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないよう注意です。今回は古い歴史を持つ国立大学の2キャンパスを夏休み前に訪問しました。最寄り駅は代表例です。

[東京農工大学]

大学公式サイトには「**農学部と工学部は明治7年(1874年)設立された内務省勧業寮内藤新宿出張所に設置された学問所が前身となっています。農学部と工学部は昭和24年(1949年)新制大学の東京農工大学として統合されるまでは、それぞれ全く別の教育機関としての変遷を辿りました。**

農学部は農事修学場、駒場農学校、農商務省駒場農学校、東京帝国大学農学部を経て昭和10年(1935年)東京高等農林学校として独立し、府中に移転、**昭和19年(1944年)東京農林専門学校から昭和24年(1949年)東京農工大学農学部となりました。**

工学部は蚕業試験掛、農商務省蚕病試験場、蚕業講習所、東京蚕業講習所、東京高等蚕糸学校、昭和15年(1940年)小金井に移転を経て**昭和19年(1944年)東京繊維専門学校から昭和24年(1949年)東京農工大学繊維学部となりました。養蚕農家の衰退と共にその役目を終え、昭和37年(1962年)繊維学部は工学部に改称されました。東京農工大学は平成16年(2004年)国立大学法人化により国立法人東京農工大学となっている」と記載。**

寅次郎、私立大学だと思っていました。

〔府中キャンパス〕 府中市晴見町 3-8-1

最寄駅 京王線 府中駅北口からバス利用

府中駅北口 3 番乗り場からバスに乗り晴見町で下車、右側に**農学部正門**があります。写真下左は構内の檜並木で右側に欒並木の説明板があり、『この欒並木は昭和 11 年(1936 年)に標高 4~5m のものが植栽されました。左右で一对になっており。本学の徽章は欒の葉に大学の文字を記しており、欒は「涼しい木陰を吹き抜ける風に乗って大空をはばたくような自由をイメージさせ、大空に力強く伸び、輝ける未来を示唆している」、「防風役割をして世の中の役にたつ」などの意味がいられています。また、欒は府中市の木にも認定されております。正門からの欒並木と時計台（写真下）は府中 30 景になっています』と記載。

3



時計台(本館)手前の左側に大久保利通公記念之碑があります。「明治の元勲大久保利通公は日本を強めるためには、産業の開発が急務であると説き、特に農業の振興には人材の養成が必要であると農学校の設置を計画した。明治 7 年(1874 年)当時の内藤新宿に農事修学場を置き、

更に明治 11 年(1878 年)駒場野に移して駒場農学校を開校した。
これが東京大学農学部の前身である。東京農工大学は東京帝国大学
農学部を前身とし、昭和 10 年(1935 年)この地に東京高等農林学校
として独立した。大久保利通公は駒場農学校の設立に大きく貢献し
たばかりでなく、下賜された賞典禄 2 ケ年分を寄付している。
昭和 15 年(1940 年)建物群が完成した落成式典を機に卒業生が大久
保利通公の高徳を後世に伝えるためこの記念碑を建築した」と記載。
本館左側を行くと、福利厚生センター(学食)(写真下左)がありま
す。写真下右は学食前の休憩所で、公園のようです。



サバ塩焼き 194 円、十勝牛とろコロッケ 108 円、夏の惣菜トリオ
108 円、ライス小 64 円、みそ汁 32 円でした。
営業時間は 10 時 30 分～15 時です。



下は構内の写真で、奥には農場(写真下右)もありました。



〔小金井キャンパス〕 小金井市仲町 2-24-16

最寄駅 JR中央線 東小金井駅

東小金井駅 nonowa 改札口(IC 専用)を出て、右 法政大学、左 東京農工大学の矢印があります。すぐ右折し、セブンイレブンの前の道を渡り、左方面に行き、社会医学技術学院の先を右折すると工学部東門です。(写真下左) 右の総合会館に生協食堂と左の創立 140 周年記念館にカフェがありました。まずは総合会館 (写真下右) へ入りました。平日の営業時間は 10 時 20 分～18 時 30 分。



カレー (中) 259 円、オクラの巣ごもりたまご 129 円。カレーにかけ、混ぜて食べると乙な味でした。



構内案内図で正門の位置を確認して、並木道を歩きました。夏休み前なので構内は静かな雰囲気です。

写真下は歴史を感じさせる工学部正門と構内に向かう並木道です。



正門の右脇には東京農工大学科学博物館が（写真下左）あり、無料で入れます。東京農工大学の「現在」と「歴史」が学べます。特に蚕糸の歴史が学べます。



構内を歩いて東門方面に戻ります。写真下右は見事なしだれ桜です。構内には1～14号館、講義棟、新1号館、実験棟6棟、図書館などがあります。



創立 140 年周年記念館と入口です。1F にカフェがあります。



平日の営業時間はカフェ 11 時～17 時、ランチ 11 時 30 分～13 時 30 分、
30 分待てずに農工ラーメンを食べたつもりで帰りました。



次回は 東京の学食めぐり-34 です。

平野 寅次郎 拝